

「さぬきの森の会」 通信

平成 28 年 3 月 10 日
第 19 号

発行：国営讃岐まんのう公園
問い合わせ番号：0877-79-1807

平成 27 年度 第 5 回イベント開催される

平成 28 年 3 月 5 日（土）に 23 名が、イベントに参加しました。

平成 27 年度の 5 回目のイベントが、3 月 5 日（土）に開催されました。

前年度は天候が不順で実施できなかったイベントです。当日は、朝から晴天で、3 月とは思えない暖かい一日となりました。

イベント内容は盛りだくさんで、冬の野鳥観察会、ナメコの菌打ち体験、シイタケの収穫と食体験、シイタケの菌打ち体験でした。

今回は、9 組 23 名（大人 11 名、子供 12 名）の参加となりました。まんのう町、丸亀市、坂出市、高松市からおいでいただきました。特に、丸亀市からおいでの方が多く、また、大人だけの参加の方も 3 人いらっしゃいました。

【それゆけ！きこり探検隊 冬の野鳥観察とキノコの菌打ち・食体験（第 5 回）】

冬の野鳥観察会

10:00～11:15、12:00～12:45

（自然生態園～苔谷～自然生態園）

ナメコの菌打ち体験

11:15～12:00（苔谷）

シイタケの収穫と食体験

12:45～13:30（木もれ陽の森、自然生態園）

シイタケの菌打ち体験

13:30～13:45（木もれ陽の森、自然生態園）

1. 冬の野鳥観察会

最初に、榮川先生から、野鳥が巣をつくる場所についてお話がありました。縁側でパネルを使って、中木や低木、草原、枯れ木、土の崖など林のいろいろな場所を選んで、巣を作っていることとお話ししました。目の前には、キツツキが何回も穴をあけたマツの枯れ木が横たわり実感として伝わってきます。

次に、1 家族に 1 台お貸しした双眼鏡の見方の練習です。使い方に慣れたら、さぁー出発です。

出発してすぐの四阿の東側に、個人会員の宮脇さんが作った「メジロの水場」があり、1 週間ぐらい前からヒマワリの種などを置いて鳥寄せをしていました。ちょうど、ヤマガラ、シジュウカラがやってきました。絶好の観察場所です。5m ぐらいしか離れていませんから、肉眼でも見えます。そして、少しは移動しますが、エサを食べているのでいなくなってしまうということがありません。子供達も双眼鏡で観察できました。近くで見る鳥に釘づけです。しばらく、「メジロの水場」を観察した後、移動を開始しました。今度は南の台地の西側の四阿で、カワラヒワを観察することができました。南の谷を通り、逆様池の横を通り、湿地の谷から苔谷に向かいます。ここも鳥の多い場所だそうです。苔谷に付き往路の観察は終わりました。

苔谷のナメコの菌打ちが終わり、復路の観察会が始まりました。天の広場の

横を通り、南側の自動車園路を通り、木もれ陽の森を通りました。そして、木もれ陽の森の入り口にあるコナラの大木の下で鳥合せをしました。全部で20種類の野鳥を観察することができました。



榮川先生の野鳥が巣をつくる場所のお話



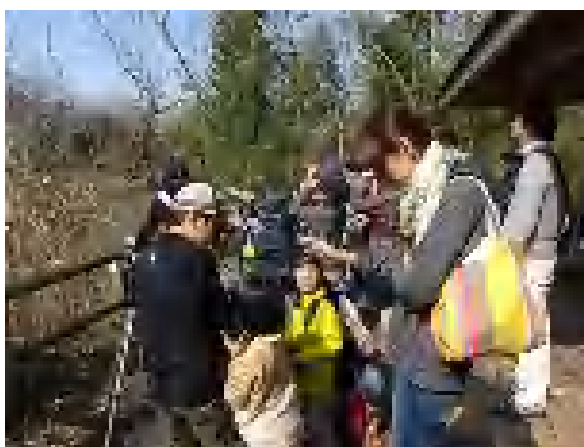
双眼鏡の見方の練習



メジロの水場での観察



メジロの水場



南の台地での観察



鳥合わせ

2. ナメコの菌打ち体験

野鳥観察をしながら苔谷につきました。次は、ヒノキのほだ木へのナメコの菌打ち体験です。

まず最初に、広場で増田先生からヒノキの人工林のお話がありました。木を植えてから、管理をしないとヒョロヒョロとした林になってしまい、間伐をして1本1本の木を大きくしていき、間伐材はキノコの栽培などに利用するというお話がありました。

いよいよ、菌打ちをするヒノキの林に移動します。フォスターズかがわの皆さんが事前に、ヒノキの間伐、玉切り、穴あけをして、ナメコの種ゴマと木槌をセットにしてすぐ体験ができるように準備してくれました。

中野先生から、菌打ちの模範演技と注意事項の説明がありました。8組に分かれて菌打ちの始まりです。穴にロケットの形をした種ゴマを差し込み、木槌でとんとんたたきます。種ゴマがほだ木の中に十分に入って高さが同じになったら終了です。とんとんという音が気持ちよく林内に響きます。縦の1列が終わったら、少しほだ木を回転させ、次の1列に打ち込みます。全部で1000個の種ゴマもすべて打ち終わり、ほだ木を1カ所に集めて並べます。みんなで運びます。小さい子も大人のを借りて一所懸命運びすべてのほだ木が並べ終わりました。来年の収穫が楽しみです。



増田先生のお話



ナメコ菌打ちセット



中野先生の模範指導



とんとん菌打ち



力を合わせて一列に並べます



菌打ちの完成、収穫が楽しみ

3 . シイタケの収穫と食体験

さて、次は皆さんが楽しみにしていたシイタケの収穫と食体験です。近石先生がシイタケの収穫の仕方についてお話をしてくれました。シイタケがほだ木から出ている根元をしっかりと持って取ってくださいとお話がありました。今回は、大人の方には我慢していただき、子供たちだけシイタケ採りをする事になりました。生まれて初めての収穫体験かもしれません。初めはおずおずとしていましたが、だんだん慣れてきました。

次は、いよいよ食べる方です。イベントの進行が速く焼きシイタケの炭火起こしが間に合わず、キノコ汁を食べながら昼食が先になりました。まんのう町老人クラブ連合会仲南支部の女性部の方の調理のキノコ汁です。シイタケやシメジのキノコと野菜が一杯の美味しい汁です。

昼食も終わり炭火の具合もよくなり焼きシイタケの始まりです。1人2枚ずつです。収穫したシイタケも入っています。3台のバーベキューコンロを囲んで思い思いにシイタケを焼き始めます。シイタケの裏側がほんのりキツネ色になったら食べごろ。お醤油を垂らして食べます。シイタケはあまり子供たちに好かれないそうですが、この焼きシイタケは子供たちにも好評だったようです。シイタケ嫌いが少なくなったかな。



こわごわとシイタケにさわります



だんだん慣れてきました



キノコ汁をいただきます



美味しそうなキノコ汁



炭火で焼きシイタケ



もう食べごろかな

4. シイタケの菌打ち体験

お腹もいっぱいになり、疲れも出始めたころですが、今回のきこり探検隊は盛りだくさん。最後のプログラムのシイタケの菌打ち体験の始まりです。再び、木もれ陽の森に集合。

最初に、キノコ農家でキノコ作り名人の高井先生からお話がありました。樹木の中を水が動いている時期にほだ木用に間伐することや、1個の種ゴマから横に5cm、縦に30cm菌が伸びるから菌打ちの穴はこういう間隔であけるという名人らしい納得のいくお話でした。

シイタケの方は、まんのう町老人クラブ連合会仲南支部の方と宮脇さんが、玉切り、運搬を事前に行い、穴あけ、種ゴマ、木槌の準備をしてくれました。菌打ちの要領は同じですが、ほだ木と種ゴマの高さを同じにして、打ち込みすぎて水がたまるようなくぼみを作らないようにと注意がありました。

8組に分かれシイタケの菌打ちが始まりました。今度は2000個です。子供達も疲れも見せずに、種ゴマを穴に刺し木槌でとんとんたたきます。春を思わせる温かい森の中の音楽会のようなです。ほだ木は1カ所に集め横一列に並べます。夏には本伏せの作業が待っています。参加者の皆さんも満足し、記念写真を撮影し終了としました。



高井先生のお話



シイタケの菌の生え方と菌打ちの穴の話



こちらもとんとん菌打ち



一列に仮伏せ



参加者・スタッフ全員で記念写真

5 . アンケートの参加者の声

1) 「冬の野鳥観察会」

- ・こんなに多くの野鳥に会えるとは思っていなかった。
- ・双眼鏡で見ると鳥の色もはっきり見えてびっくりしました。
- ・スタッフの準備の良さでとても楽しめた。
- ・普段はあまり興味を示さない子供も関心を寄せていたのをみられてよかったです。
- ・フィールドスコープ、双眼鏡で見せてもらい良かった。
- ・野鳥の鳴き声や実際の姿を見ることができて良かった。

2) 「ナメコの菌打ち体験」

- ・59歳にして初めての体験をした。
- ・初めてだったのでできて良かったです。
- ・森の中で体験するということが集中できてよかった。
- ・貴重な体験をさせていただきました。
- ・楽しかった。
- ・間伐材を利用していることに関心を持った。

3) 「シイタケの菌打ち体験」

- ・59歳にして初めての体験をした。
- ・初めてでできて良かったです。
- ・森の中で体験するということが集中できてよかった。
- ・子供が夢中になってよかったです。
- ・詳しく教えていただき参考になりました。
- ・間伐材を利用していることに関心を持った。

4) 「シイタケの収穫と食体験」

- ・おいしい！！
- ・とてもおいしかったです。
- ・とてもおいしくシイタケの魅力が増しました。
- ・おいしい汁と焼きシイタケが素朴でよい。
- ・子供もおいしいと言っておりました。ありがとうございました。
- ・甘くて自然のものを食べられるのは新鮮でした。
- ・香りも強く肉厚のシイタケでよかった。

5) 「さぬきの森」のイベントへのご要望・ご意見

- ・体験型がいいですね。
- ・スタッフが穏やかで落ち着いた対応でゆっくりと楽しめた。

- ・皆さんご丁寧に教えて下さり楽しかったです。また来たいです。
- ・ナメコやシイタケの菌打ちをしたその後がどうなるか楽しみです。

6 . 反省会でのスタッフの声

イベント実施の時にしか多くの会員が集まることができないので、この機会を活用して会員の皆さんに感想や意見をお聴きました。

1) 「冬の野鳥観察会」

- ・キツツキの穴の実物や鳥の餌場などがあり野鳥観察に効果があった。
- ・小さい子供や野鳥観察に慣れていない子には、イントロで鳥をみられたのは良かった。また、オタマジャクシを見せても良かった。春の自然観察のような内容が良かったと思う。
- ・エサ台、水飲み場で冬場の鳥を集めることができて良かった。

2) 「ナメコの菌打ち体験」

- ・事前にほだ木に穴をあけていたので小さい子供でも菌打ちができた。自然に親しむことができた。
- ・菌打ちの木槌の音を楽しんでいた。
- ・菌打ちは小さい子供でもできた。

3) 「シイタケの菌打ち体験」

- ・菌打ちが2回になって、同じ行動・内容の繰り返しになってしまった。
- ・菌打ちと収穫が同じ時期にできて良かった。
- ・シイタケの菌打ちの穴の直径が大きいのは良くなかった。
- ・菌打ちをして収穫もできたのはとてもよかった。

4) 「シイタケの収穫と食体験」

- ・収穫体験の時期がシイタケの生える時期より1週間ほど早い。1週間ほど遅くした方がいい。ここでとれたもので自給自足したい。

5) 全体

- ・参加者がまとまって集中していた。
- ・アンケートをみると。満足した人が多い。子供たちも喜んでいました。
- ・プログラムの数が多かったがスムーズにいった。ナメコが1000個でよかった。少し物足りなかったがシイタケの菌打ちで満足できた。